

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		BY	公表日			令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	規定に沿ったスペースと、活動を想定して1日の受け入れ人数を調整した。活動内容に沿って教室の構造化に努めた。	職員の希望に合わせた教室が2026年度より開室。より構造化された環境と公園が隣にあるため、活動内容の幅も広がった。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	職員間の連携は密に行い、連絡漏れなど人的ミスが起きないようにした。	基準に満たした職員配置は行っていたが、活動をより充実させるよう職員を増やしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25%	75%	構造化には特に力を入れて行った。	戸建ての施設なため、バリアフリーに限界がある。2026年度より教室を移転し、完全バリアフリー化となる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃、ドアノブを拭いたり等、感染症対策にも努めた。	引き続きお子様に合わせた環境の構造化を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子様に合わせて落ち着ける環境を作った。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	カンファレンスや朝礼・振り返りの時間は全員が参加するようにしていた。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員会議にて取りあげ、回覧で周知を行った。今後の業務改善に向けて案を出した。	日ごろの療育の様子は伝えていたが、訓練や研修、地域連携については理解が希薄であった。周知の仕方など工夫が必要と感じた。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	気づきがあれば話し合いがしやすい職場環境であると感じる。職員も少ないため、密な連携が取れている。	今後職員が増えた時を予想し、マニュアルを作成していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	外部評価をいただく機会を設けていない。	今後は第三者の方の外部評価をいただけるような仕組みを作りたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	海外の学校をリモートで見学する機会や、米軍基地内の学校を見学する機会があった。教材を検討するために大きなイベントに研修に行く機会もつくることができた。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	正しい支援プログラムが公表できている。	HPにて公表しているが、利用者が知らないことが多かった。周知を徹底していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	公式LINEを利用し、利用者と密に連絡を取り合いながら計画を作成したり支援をすることができた。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	全職員が支援に関わったことのある経験者なため、議論はスムーズであった。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	回覧を行い、周知を徹底したり、支援に入る前に計画を確認したりした。	一貫した支援をしていくため、職員が増えた際にも軸がぶれないようにしたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の申し送りや動画の撮影によって記録を残している。	一貫した支援をしていくため、職員が増えた際にも軸がぶれないようにしたい。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	計画の中に必要項目が記載されているようになっている。	保護者の方への説明を丁寧に行っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	リーダーが取りまとめながらプログラムを作成している。	2026年度からは、全職員が参画できるように会議を設定していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	お子様から活動希望を募り、プログラムを組んでいた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子様から活動希望を募り、プログラムを組んでいた。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼と終礼を行っていた。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	朝礼と終礼を行っていた。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	療育支援システムを採用していたため、記録しやすかった。記録を確認しながら支援の方向性を統一させたり、次の療育について検討していた。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	計画的にモニタリングを行うことができた。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100%	0%	様々な活動から4つの基本活動の視点に立って考えることができています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自立・主体性をミッションに掲げており、保護者の方への周知を徹底している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子様とより関わっている職員が参加し、お子様の将来を考えながら会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	各学校と密に連絡を取ることができています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時などは学校と連絡を取り合うことが多かった。また、保育所等訪問支援を行っているため、学校との連携はスムーズだった。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	保育所等訪問支援を未就学時から利用していただくことで、就学する際の情報共有はしやすかった。	利用していた園を保護者の方から共有していただく。利用していた事業所から情報共有していただけるよう連絡をとっていただきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	該当の利用者がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	相談支援事業も行っているため、支援センターと関わることもある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	児童館にて交流したり、地域イベントを開催したりした。	交流の機会を増やしたり、保護者への周知の仕方を検討したい。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	初年度で都合がつかず、参加することが難しかった。	来年度は積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	密に連絡を取り合うことができていると感じる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者会や各テーマに沿って研修会を行った。	引き続き研修会を行い、周知をしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	50%	50%	運営規定については説明が不十分なところがあったと思う。	契約時に丁寧に触れていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	お子様の思いをくみ取り、活動に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談時に計画の方向性を示し、わかりやすい文言で計画を作成することを心掛けている。	説明する機会をどこで設けるか、タイミングを考えていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	いつでも相談ができるような雰囲気をつくったり、連絡が密にできるようにした。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	保護者会は数回実施したが、きょうだい同士の交流は少なかったように思う。	交流会や保護者会など、バリエーションを増やして開催していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご意見をいただいた際には迅速に対応できていた。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	頻繁に外部に情報発信を行った。	個人情報の取り扱いについて引き続き気を付けていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時に同意書を交わし、丁寧に説明させていただいた。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子様の発達段階に合わせて絵カードなどの副教材を検討したり、伝え方について検討している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域イベントを行った際には、事業を知っていただくために前倒しで事業紹介などをSNSで行っていた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	訓練は行っていたが、マニュアルがあまり周知されていなかった。	HP等、周知の仕方を検討する。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	50%	50%	訓練は行っていたが、保護者の方にあまり周知されていなかった。	HP等、周知の仕方を検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートに記入していただく際に把握できており、職員間でも共有できている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0%	100%	該当の利用者がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	適切に行っている。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0%	100%	訓練等を行っていたが、保護者の方にあまり周知されていなかった。	HP等、周知の仕方を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、回覧・朝礼にて職員に周知を行っている。また再発防止に向けて対策を併せて検討することができる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	適切に行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	適切に行っている。	